

<別紙>

N E C 東京第三データセンターの主な概要（計画）

■ 立地および施設の安全性

<立地>

- ・ 地震：活断層から 10km 以上の距離
- ・ 津波：海岸から直線距離で 20km 以上
- ・ 地盤：非常に固い（N 値 60 以上、注 1）
- ・ 浸水：海拔 50m 以上の高台・ハザードマップ対象外

<施設>

- ・ JDCC（注 2）データセンターファシリティスタンダードティア 4（注 3）相当

（注 1）N 値とは、標準貫入試験（JIS A 1219）によって求められる地盤の強度等を表す数値。50 以上は極めて固いとされる。

（注 2）Japan Data Center Council (JDCC) 特定非営利活動法人 日本データセンター協会

（注 3）JDCC が制定した、日本国内のデータセンターに求められる信頼性を実現するための ファシリティ内容を定めた基準。ティア 4 は最上レベル。

■ 主な仕様

項目	内 容
耐震	基礎免震構造
耐水	高台（海拔 53m）、1 階床高を「地盤面 +1,700mm」で設計
電源設備	特別高圧受電 66kV、本線予備線 2 回線受電、自家発電機 (冗長構成)、UPS (冗長構成)
空調設備	中央熱源方式、ターボ冷凍機、エアーハンドリングユニット (冗長化構成)
セキュリティ	24 時間有人監視、共連れ防止、IC カード認証、生体認証、 監視カメラ 等
通信キャリア	キャリアフリーのため制限なし、複数系統の引込線路
火災対策	超高感度煙感知器、窒素ガス消火設備
公的認証等	FISC 準拠、プライバシーマーク認定、ISO27001 取得予定
付帯設備	備品保管設備、データ保管室、プロジェクト室、会議室